

市民活動サポートセンター いなぎ

# ニュースレター

## No.5

2005.12.15

発行/市民活動サポートセンターいなぎ  
運営協議会

事務局/〒206-0802

稲城市東長沼2112-1

稲城市地域振興プラザ1F

市民活動サポートセンター内

電話042-378-2112

E-mail:info@i-inagi-support.org

http://www.i-inagi-support.org/

▼10月に行われた「<sup>あい</sup>いのまちいなぎ市民祭」にサポートセンターも出展



### 金曜サロンスペシャル今後の予定

## 予約はいりません、お気軽に・・・

※毎回開場は午後6時半、開始は午後7時からです。

#### ◎1月13日(第2金曜日)「地球環境について」

■話し手/須藤智徳さん(財)地球環境戦略研究機関気候  
政策プロジェクト主任研究員

- ・地球温暖化の最新情報(モントリオールでの国際会議を終えて)
- ・環境問題で地域社会や家庭でできること
- ・緑の価値について

#### ◎2月3日(第1金曜日)「スワンベーカーリーで働く人たちの自立と支援について」

■話し手/大森八恵子さん(元スワンベーカーリーカウンセラー/  
現国立リハビリテーションセンター職員)

- ・スワンベーカーリー事業は障害者の雇用、収入の確保、自立支援などをサポートし、全国的にパン製造と販売を行うチェーン店を展開しています。

#### ◎3月3日(第1金曜日)「若葉台のまちづくり・ 夢づくり・コミュニティづくり」

■話し手/坂井カさん(市民活動サポートセンターいなぎ  
運営協議会メンバー)

- ・まちづくりのソフトとハード
- ・「地域力」って何?(地域の自治力・教育力・福祉力・環境力など)

●ホームページを  
ご活用ください。

サポートセンターのホームページでは、施設の案内や利用方法、講座やイベントの案内など、様々な情報を発信しています。ぜひご覧になってください。

★ ★

また、市内で社会貢献活動を行っている団体の紹介コーナーもありますので、未掲載の団体はお申し出ください。

なおこのコーナーでは、団体の活動を写真で紹介したり、団体が主催する行事案内もさせていただきます。希望する団体は、お気軽に写真や文章をお寄せください。

★ ★

投稿による「稲城の風景」もアップしています。お好きな市内の風景やイベントなどをデジカメにおさめ、簡単なコメントを付けてお送りください。

http://www.i-inagi-support.org/

## 熱気にあふれていた NPO講座「実践編」

月日：11月12日（土）10：00～17：00  
場所：稲城市地域振興プラザ4階

これまで行った3回の入門編に引き続き、11月12日に「だれにでも分かるNPOの会計」と題して、NPOの経理と税務についての講座を開催しました。講師は、内藤純さん（公認会計士・税理士）です。内藤さんは、東京ボランティア・市民活動センターの相談員で、NPO会計講座の講師をされています。

★ ★

内容は、NPO法人における会計の目的など、会計上の要点や経理上

の流れについて説明を受けた後、午後からは、簡単な事例を使って、実際に仕分けをして簿記の実務を体験しました。

最後の税務の講義では、NPOが活動をしていく上で様々な税金が関わっている事が分かりました。

★ ★

日頃、実際の活動に関わっている私たちですが、お金をきちんと管理することの大切さやそのための方法、普段はなじみのない税金につい

て考えることができたと思います。

「実践編」の講座は1回だけでしたが、昼食をはさんでの6時間にわたる、非常に密度の濃い、内容豊富な講座でした。参加された41名の皆さん本当にお疲れ様でした。

※今回使用したテキストは、東京ボランティア・市民活動センター発行の市民活動マネジメント研修「経理」と「税務」（各500円）です。簡潔で分かりやすい内容の小冊子で、サポートセンターにも置いてありますので興味のある方はご覧ください。

※NPO講座「体験編」を右ページのように追加開催することになりました。ぜひご参加ください。（川本）

### あいのまちいなぎ 市民祭に 出展 しました。

10月22日・23日に行われた「いのまちいなぎ市民祭」にサポートセンターも出展し、市内で活動をしている団体のPRや行事チラシの配布などを行いました。

その時の様子を写真で紹介します。



## NPO講座《Ⅲ体験編》

### ～市内NPO法人による 活動体験発表～

今年度「入門編」を3回、「実践編」として「誰にでも分かるNPOの会計」を実施しました。それに引き続き「体験編」として、すでにNPO法人を取得して活動している団体に、設立準備から実際に活動しての問題点などを発表していただきます。ぜひお仲間をお誘いの上、お気軽に受講してください。

- 日時 1月25日(水) 午後2時～4時
- 会場 稲城市地域振興プラザ4F
- 参加費 無料

- ① 設立手順について 中村達也(市民活動サポートセンターいなぎ運営協議会メンバー)
- ② 活動体験発表
  - ・ふれあい広場ポーポーの木
  - ・支えあう会みのり
  - ・クラフトボランティアJOY
  - ・いなぎ里山グリーンワーク

■主催 稲城市協働推進課  
市民活動サポートセンターいなぎ運営協議会

●受講を希望される方は1月18日(水)までに市役所協働推進課にお申し込みください。

☎042-378-2112

## がんばってます

3



▲好評だった竹を使っの流しソーメン

会の設立は、お子さんの卒園を機に、これまで培ってきたものをこれからも大切にしていきたいという思いから、お父さん方が集まったのが始まりでした。特別な規約はありませんが、地域のお父さん同士の交流と子供たちの育成の為にイベントの開催を目的としています。設立当初から目的が一緒ということで連帯感も強く、そのこ

長峰父親の会  
長峰Papa's

肩に力を入れず  
自然体で・・・

代表 杉坂憲一さん

コミュニケーションの良さが活動に生かされているようです。今年のイベントは八月の流しソーめん、九月の天満神社秋祭りの子供みこし、十二月は、しめ縄作りと昔遊びをします。

今、子供たちの生活から失われつつある自然や地域と関わって遊ぶことや、こままわし、羽根つきなどの昔あそびを楽しませようです。

お父さん方の少年時代への懐かしさやあこがれもあるようにお見受けしましたが、こままわしではお父さん以上に、お父さん方の歓声があがるのではないのでしょうか。

夢中になつて遊ぶ子供たちの姿に出会う時やつてよかつた、これからも続けていこうという思いになるそうです。

今後は、大きな目標を掲げたり、子供を育てるといふような肩に力が入ったものでなく、地域の子供たちと共に遊び、温かく見守っていく父親の会でありたいということです。

(文責：塩川)

## 運営協議会

# ほうこく

## 役員会・全体会

10月11日に役員会・運営協議会を開催。10月26日に臨時運営協議会を開催。11月14日に役員会・全体会を開催し次の議題について検討しました。

### 10月11日 .....

[センター運営に関して]

- ① 利用登録申請団体の承認  
4団体

- ② 各部署の報告

[事業企画に関して]

- ① 「<sup>あ</sup>のまちいなぎ市民祭」について
- ② 当番シフトについて

### 10月26日 .....

- ③ 今後の活動について

[センター運営に関して]

- ① 事務局体制について
- ② 事務局と各部署の関連について
- ③ 今年度中に行う事業について

・NPO講座実践編

11月12日

- ・NPO法人経験者の「体験報告」講座を企画
  - ・個人対象の人材登録及びボランティア登録の促進
  - ・登録団体の拡充
  - ・日帰り研修
  - ・登録団体とサポートセンターの共催事業について
  - ・来年度の事業計画について
- ④ NPO法人化の取り組み

### 11月14日 .....

について

[センター運営に関して]

- ① 事務局新体制報告
- ② 利用登録申請団体の承認

3団体

- ③ 各部署の報告

[事業企画に関して]

- ① 市民活動サポーターバンクについて
- ② かまくらNPOセンター日帰り研修について
- ③ NPO法人経験者の「体験報告」講座の開催
- ④ 利用団体との交流会について
- ⑤ NPO法人化プロジェクトについて
- ⑥ 金曜サロンスペシャルについて

[広報・ホームページに関して]

- ① ニュースレター第5号  
12月15日発行
- ② ホームページ掲載について

[継続審議事項]

- ① 18年度事業計画について
- ② 18年1～3月の金曜サロンスペシャルについて

## 編集後記

今まで、市民のグループに参加して話し合ってみると、「稲城をもっと知ってもらうために」とか、「稲城の緑を残すために」とか、「稲城の活性化のために」とか、多くのグループで似たようなことを話し合ったり、企画したりしているのによく出会った。

そうかと思うと、「街の活性化のために話し合いますよ。」という市の企画に参加してみると、商業に関連している人が参加していない。「緑を残そう。」という会合に農業関係の人が入っていない。「子どものことについて話し合いますよ。」という会合は女の人ばかり、ということが生じて、集まった人が専門外のことを調べたり、推し量つたりして補っていたのが目についた。

市民から行政については縦割り行政だと多くの批判が寄せられ、かなりよくなってきたと思う一方、市民の活動で、意識的ではないと思うが何か壁があるようにも思えた。そうして、もっと横の交流があればいいのになと思うことが多かった。

そこに出来たのが、この市民活動サポートセンター。ここがこれら各種団体の交流の場、いわゆる、産業界で言われている異業種交流の場となつて欲しい。

ここでは団体だけではなく、個人のレベルでも仲介していきたい。

そうか、そのように「こ」を利用して頂きたいと切に願っている。(豊間根)